



店舗外観。裏手には700台を収容できる駐車場が広がる

福島県の最北に位置する福島市。人口は県内で3番目に多い約27万人で、市内にはホール20店舗が存在する。全設置台数は1万1000台余り。最多台数を擁するのは、20店舗の中で最も若い「ニラク福島太平洋」(1280台)だ。

年末にランドリリニューアルした「マックス福島北」は、それに次ぐ規模を誇る。市内で3番目に大きい「ウイル・マックス」(968台)も、ミナミ・エンタープライズの経営店舗だ。今回の改装について、坂本陸学ストアマネージャーは次のように話す。

「地震への備えが大きな要因でした。ランドリオープンから20余年も経つと、大なり小なり設備が老朽化します。22年に起きた地震では、2階フロアの一部分が損傷。より安心・安全な店づくりが急務でした」

改装後は1階をパチンコフロア、2階をパチスロフロアとし、いずれの島づくりでも島や研磨機を背の低いものに替えた。玉研磨には、洗浄効果とウイリス除去力が高い「ECOポリシステム」を採用した。

「ニューギン・アドバンスさんが要望に応じてくださいました。スマパチ専用のプライベート島も6台新設。お客様からは特別感を味わえる」と好評です」

リニューアルでは一部のバックヤードを取り壊し、増台と台間・通路幅の拡張を実現した。両階層にあった対面式の景品カウンターは、マースエンジンリアリングの「エヴォールスマー」トセルフ交換機に変更。顧客の利便性を高め、省力化を図った。

「島レイアウトも周辺設備も、近隣にはない特徴的なものを意識しました。狙いだった若年層の取り込みに、「役買っていると思います」

PS比率が7対3だった改装前は、20円パチスロで8〜9割の稼働、2万枚のアウトがあっても、高齢者向けのイメージが漂っていた。改装後のPS比率は5対5。客層の平均年齢を押し下げた。

「20〜30代の割合が6〜7割に及

HALL REPORT

マックス福島北 (福島県福島市)

# グループ旗艦店が堂々オープン

日常的な楽しさを若年層にも訴求

福島、栃木、茨城でホール8店舗を展開するミナミ・エンタープライズ(福島県郡山市)が12月27日、旧「マックスアリーナ」を「マックス福島北」にリニューアルした。総台数は1111台(パチンコ556台、パチスロ555台)。グループ旗艦店の位置づけだ。



日常的な楽しさを求める遊技客でにぎわう店内



A



B



C



D



E

A/ 照度を落としたパチスロフロアでは、立方体のサイネージが目を引き、B/ 使い勝手が良いマースエンジンリアリングの「エヴォールスマー」トセルフ交換機 C/ 雁行型に並ぶ6台のプライベート島(ニューギン・アドバンス) D/ 明るく開放的なエントランス E/ パチスロフロアには、三つの円形島や長さが異なる屈折島を配置



坂本マネージャー

び、年代構成が様変わりしました。客層データを確認すると、前回の来店からしばらく間が空いていた若年休止層が戻ってきています」

パチスロを増台したことや、チラシを今までよりも減らしてWeb広告の量を増やしたこと、差玉情報の公開などが一因になっていると坂本ストアマネージャーは分析する。

セルフPOSの利用も上々だ。

「マースさんの「エヴォールスマー」トセルフ交換機は、お客様が普段から使い慣れている精算機と一体型なので、初めての方でも抵抗感がないようです。大きな操作画面と音声サポートも頼もしい。当店としてもカウンタースタッフ2人の手が丸々空くので、とても重宝しています」

今後の展望については、「地元有力法人の牙城を崩せるように、「MAX」ブランドを築きたい。当社が全国的にお祭り騒ぎのライター招致に否定的な理由は「毎日」を楽しんでほしいから。この方針で、市内1番の客数を集め続けたいですね」と語る。

A